

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【1】」
2. 日時：令和3年6月1日 16時05分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

岩田安全管理調査官、立元管理官補佐、中野上席安全審査官、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、藤川安全審査官、田澤審査チーム員、佐藤係長

（核燃料施設審査部門）

甫出主任安全審査官※

GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH：

設計・解析部長 他4名及び通訳者並びに通訳補助者7名※

5. 要旨

- (1) GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH（以下「GNS社」という。）から、発電用原子炉施設に係る特定機器である特定兼用キャスクの設計の型式証明申請について、本日のヒアリングにおいて提出のあった資料に基づき、申請概要の説明があった。
- (2) これに対し原子力規制庁は、審査にあたっての留意事項等を伝達するとともに、以下の点について確認した。また、引き続き申請内容を確認することとした。
 - 審査会合における審査は、審査を日本語において進めることを前提とするため、GNS社としては審査体制が整ってから審査を開始する意向であること、また、現時点では、当該体制が整備される時期が未定であるため、後日連絡すること。
 - 本日説明のあった内容については、追加の資料の作成要否検討等を含めて引き続き整理を行い、審査会合に向けての準備を進めること。
- (3) GNS社から、了解した旨回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請の概要

以上